

富山大学地域連携推進機構生涯学習部門における 2018年度の実施事業について

矢口 忠 憲

(富山大学地域連携推進機構生涯学習部門長)

要旨：富山大学地域連携推進機構生涯学習部門において2018年度に実施した事業の概要を報告する。主要な事業である公開講座の開設数は54講座、オープン・クラスの公開科目数は802科目、サテライト講座9講座であった。都市デザイン学部が新設され、新たな学術分野による市民向け講座を実施したほか、年代別のニーズを意識した講座の充実を行った。



はじめに

2019年4月、富山大学長が齋藤滋新学長へ交代し執行部も一新、本学が新たな船出を迎えるなか、生涯学習部門長に就任しました。多様化の一途をたどる市民の生涯学習のニーズと向き合い、当部門の使命・目的である「大学の知的資源を開放することを通じて、地域社会における生涯学習の振興と充実に寄与する」取り組みを推し進めて参ります。

さて、2018年度は本学にとって大きな変革の年となりました。その1つが、学部1年次の教養教育の五福キャンパスでの一元実施の開始であり、2つ目が9番目の学部として都市デザイン学部を新設したことです。これに伴い、都市デザイン学部が行っている「自然災害の予測やリスク管理、社会基盤材料の開発、都市と交通の創造」分野の研究成果なども、早速、公開講座、サテライト講座、まちなかセミナー等において提供することができ、学習機会の充実を図ることができました。

近年、国の人生100年時代構想の中では、何歳になっても学び直しができる社会が描かれ、本県でも「富山県における人生100年時代ひとづくり構想会議」が立ち上がっています。社会

情勢が目まぐるしく移り変わるなか「生涯にわたって学び続けることにより、地域や国際社会で生き生きと心豊かに活躍できる人材の育成」の重要性が語られています。

このような情勢の中、本部門が果たしていく役割は益々大きくなっており、2018年度は試みとして、現役・子育て世代のニーズを念頭に、男女共同参画推進室との協働による「女性のための再就職支援講座」を開催し、経済学部教員が講師を務め、新聞の読み方を学ぶ教養講座も実施しました。

また、高大連携事業として、県内高校生に富山で働き暮らして行くことのイメージを持ってもらうための「キャリアデザイン講座」を、「地(知)の拠点」(COC+事業)と連動して、魚津高校において、魚津市役所の協力を得ながら、地域課題に関するワークショップを取り入れた授業を実施しました。

大学を取り巻く環境も年々厳しさを増していますが、地域の生涯学習の拠点として、若者世代、現役・子育て世代、シニア世代のそれぞれのニーズを意識しながら、引き続き、多様な学習機会の提供に努めていく所存です。

ここに刊行いたします生涯学習部門年報第21巻は、昨年度の生涯学習部門の取り組みを総括し、今後の事業展開へ向けた基礎資料・指

針を提供するものです。

以下、本年報の内容は、本部門が実施してきた2018年度事業の概要報告、公開講座・オープン・クラス等の実施状況報告、本部門専任教員による研究論文、委員会等の開催状況報告、そして事業報告資料集となっております。

本書を通して、本部門の事業をご理解いただき、今後のより一層充実した生涯学習活動へ向けて、みなさま方の忌憚のないご意見・ご要望をお寄せいただけましたら幸いです。

1. 生涯学習事業

① 公開講座

本学は数多くの公開講座を実施しています。この事業は、本部門に設置された全学的な公開講座専門委員会にて企画が審議・承認され、本学教員の大学開放に対する深い理解・協力のもとで実現されています。

ジャンルごとの開講数で見ると、教養講座で25コース、語学講座で16コース、体験講座で13コース、計54コースが企画されました。それぞれの受講者数をみると、教養講座で276名、語学講座で192名、体験講座で193名、合計661名になりました。

本学の公開講座は、一般市民の学習ニーズとうまくかみ合った企画であることから、多くの講座が例年恒例の形で（微調整・ヴァージョンアップも伴いながら）実施されます。語学では、初級から中級そして上級へとステップアップする講座が開設されています。

極めて多彩なジャンル・レベル設定を備えた講座の数々について、ここで詳細に述べつくすことはできません。しかし、多くの一般市民が受講していることや、本年報収録の受講生アンケートの結果をみると、大学の知的資源を地域社会に還元するという目的はおおむね達成できていると評価できます。



② オープン・クラス

オープン・クラスは、正規学生に対する授業を一般市民に開放する取り組みです。

2018年度のオープン・クラス利用は、受講希望者が延べ442人（前期269人、後期173人）、試聴等を経て実際に受講した者は延べ296人（前期172人、後期124人）にのぼりました。

開放科目数は前年度791科目から2018年度802科目へと増加し、延べ受講者数も前年度より12名増加しました。

2017年度後学期から、大学院の授業科目を、ハイ・グレード・オープンクラス（HGOC）と称して正式に公開し、より高度で専門的な授業科目を学びたい方のニーズへの対応を図っています。

③ 講師等紹介

本部門では学外からの講演会・研修会等のための講師派遣依頼に応じて、本学教員の紹介を行っています。講師の選定とともに、企画段階でも学習（研修）プログラム作成に協力しており、2018年度は、本部門において、約55件の講師等の紹介を行いました。

なお、講師等紹介には本部門を経由せず、各学部へ申し入れて実施されているケースもあることを申し添えておきます。

④ サテライト講座

サテライト講座は、本学教員の研究成果を一般市民に向けて開放する講座で、受講しやすいように富山駅前 CiC ビルにおいて、受講料無料、

事前申込不要で毎年開講しています。

2018年度は、都市デザイン学部が設置されて1学部増え、9つの学部から1名ずつの教員が講師となって9講座が開講され、総計785名(1回平均87名)の受講者が集まり、大変盛況でした。

平成30年度
富山大学サテライト講座

“知りたい”をここから～富山大学の“知”と出会う～

多彩な専門分野を有する富山大学の教員陣が、日々の研究成果を皆様に向けてわかりやすくお話しします。
各講座とも申し込み・受講料は不要です。お気軽にご来場ください。

時間 ■ 14:00～15:30
定員 ■ 各講座とも80名程度(事前申込不要・受講料無料)
会場 ■ 富山駅前 CiCビル3階 学習室 **受講料無料**

第1回 5/19 (土)	「持続発展可能な社会を目指す:ごみからの航空機ジェット燃料製造プラント」 大学院理工学研究所(工学) 教授 橋 龍立
第2回 6/16 (土)	「映像投影の今～プロジェクションマッピング・全天周コンテンツ～」 芸術文化学部 准教授 辻合 秀一
第3回 7/28 (土)	「高齢社会の眼の病気:最新治療」 大学院医学薬学研究所(医学) 教授 林 篤志
第4回 9/8 (土)	「富山での防災～あなたが災害を“まめがれる”ための基礎知識～」 都市デザイン学部 教授 原 隆史
第5回 10/20 (土)	「都道府県の所得格差と『地方消滅』論～富山県の現状は?～」 経済学部 教授 小柳津 英知
第6回 12/15 (土)	「くすりの適切な使用方法とは?～最低でも知っておきたいことから最新の研究の話まで～」 大学院医学薬学研究所(薬学) 教授 藤 秀人
第7回 H31.1/12 (土)	「草原の民族音楽」 人間発達科学部 准教授 石井 哲夫
第8回 H31.2/2 (土)	「富山県のことば～に・し・ひがし～」 人文学部 教授 中井 精一
第9回 H31.3/2 (土)	「重力波で宇宙を探る」 大学院理工学研究所(理学) 准教授 山元 一広

お問合せ先
富山大学地域連携推進機構 生涯学習部門 TEL 076-445-6956 FAX 076-445-6033
ホームページ <http://www.lifeu-toyama.ac.jp/>
Facebook <https://www.facebook.com/lifeuinvtoyama>
Email lifeu@ctgu-toyama.ac.jp

⑤ その他の講座・イベント

・まちなかセミナー

北陸地区国立4大学連携まちなかセミナーは、北陸の4つの国立大学が、それぞれテーマを設定し、富山・石川・福井の各会場に相互に講師を派遣し合う取り組みです。

富山会場は、2018年10月27日(土)に富山駅前 CiCビル3階学習室で、「都市をデザインする～地方創生のための安全・安心で住みよく豊かなまちづくり～」と題し、本学都市デザイン学部の原 隆史教授をコーディネーターとして、金沢大・福井大・本学から講師を迎えて、講演とパネルディスカッションを行い、約50名の受講者と活発な意見交換を行いました。

北陸地区国立大学連合協議会
平成30年度 北陸4大学連携まちなかセミナー 富山大学

都市をデザインする
～地方創生のための安全・安心で住みよく豊かなまちづくり～

入場無料

日時 ◆ 平成30年10月27日(土) 13:30～16:30
会場 ◆ 富山駅前CiCビル3階 学習室(富山市新富町1-2-3)
*事前申込は必要ありません。当日は混雑、会場の受付までお越しください。
コーディネーター ◆ 原 隆史 富山大学都市デザイン学部・教授

講演1 「市民に見える化されたデザインコンペを活用した魅力ある都市デザイン」
久保田 善明 富山大学都市デザイン学部・教授
副都心、公園、駅前広場、河川公園、水辺、商業、スポーツ・レジャーなどの公共的な空間や施設のデザインは、魅力的な都市空間の構築要素として重要な役割を果たしている。安全や維持管理、コストなどの現実的な側面にも配慮しながら、場所の魅力を最大限に引き出しつつ、都市空間に新たな価値創造(イノベーション)をもたらすデザインコンペの活用について、市民参画や制度的な観点も含めながら、最近の動向と今後のあり方について考える。

講演2 「北陸地方の自然災害の特徴と安全・安心な防災まちづくり」
宮島 昌克 金沢大学理工学地域地球社会基盤学系・教授
昨冬は近年にない大雪に見舞われ市民生活に大きな影響を及ぼしたが、最多多発する短時間集中豪雨や、河川発生が危惧される地震、津波など、さまざまな自然災害に備える必要がある。そこで、北陸地方における自然災害の特徴を紹介し、それらによる被害を軽減するために、それぞれの災害の共通点と相違点を明らかにし、それらを考慮した安全・安心な防災まちづくりについて考える。

講演3 「人口減少時代における低未利用地の創造的活用による都市の成熟化」
原田 陽子 福井大学大学院工学研究科・准教授
従来の都市計画では恒久的・恒定的な土地利用を前提に計画していったが、人口減少時代では空き地や空き家などの低未利用地を都市計画の新たな課題として捉える必要がある。本講演では、福井県中津川市南地区の低未利用地活用に関する実証実験、福井市南地区域内での空き地の活用に関する実証実験について紹介し、人口減少時代における低未利用地の創造的活用による「住環境と生活の質の向上」「都市の成熟化」について考察する。

お問合せ ◆ 富山大学 地域連携推進機構 生涯学習部門
〒930-8555 富山県富山市戎3-1-99 TEL:076-445-6956 FAX:076-445-6033 E-mail:lifeu@ctgu-toyama.ac.jp
【主催】富山大学・金沢大学・福井大学・北陸先端科学技術大学院大学 【後援】富山県教育委員会・石川県教育委員会・福井県教育委員会

・富山大学の研究を5時間で学ぶ

本講座は、学内のオリジナリティの高い研究成果を、基礎知識から最先端の情報まで一気に約5時間(1～2時間×3回程度)で紹介するものです。

2018年度は、和漢医薬学研究所の協力のもと、2019年2月9日(土)、16日(土)、3月2日(土)の3回にわたり3名の教員が講義を行い、延べ176名が参加されました。また、昨年度に引き続き、北陸地区国立大学学術連携支援事業「ICTを活用した公開講座等の遠隔講義支援システムの開発・評価グループ」の一環として、講義をライブ配信しました。PCや携帯端末から自宅等に居ながら視聴でき、質問もリアルタイムで投稿できるなど、利便性が高く、受講者から大変好評でした。

ループワークのファシリテータを担当し、実施しました。

また、本学学務部入試課主催の「富山県内大学・短大・高専合同進学説明会」においても、本学 OG 及び地域連携戦略室コーディネーターが、同様の内容で実施しました。

・女性のための再就職支援講座

「子育てしながら仕事を始めたい」「再就職して自分の能力を發揮したい」と考える女性を支援すべく、男女共同参画推進室と共同で、経済学部教員による新聞記事を読み解く講座を実施しました。

2018年10月3日(水)、17日(水)、24日(水)、31日(水)の4回シリーズで4名の教員が講義を行い、子育て世代の女性を中心に延べ111名が受講されました。

2. 学外との連携

① 平成30年度生涯学習推進懇話会

2019年3月13日(水)、多岐にわたる本部門の事業の成果や改善すべき点を把握するため、平成30年度生涯学習推進懇話会を開催しました。なお、1999年度開催の第1回大学開放推進懇話会からの通算では20回を数えます。

② 全国協議会

2018年9月18日(火)～19日(水)に開催された、第40回全国国立大学生涯学習系センター研究協議会に専任教員1名と事務職員2名が参加し、意見交換を行いました。2018年度の当番大学は宇都宮大学でした。

③ 北陸地区大学間連携

2018年11月26日(月)に金沢大学サテライトプラザ(於金沢市)において、富山大、金沢大、北陸先端科学技術大学院大、福井大の各大学スタッフによる専門委員会が開催され、

2018年度まちなかセミナーの反省・次年度の企画について意見交換が行われました。

④ その他

県内各機関と連携し、次のような講座等を実施しました。

- ・富山県美術館：ぼうしコレクション
- ・富山市立図書館：ジャグリング体験、ナレッジフォレスト
- ・高志の国文学館：高志の国文学館文学講座
- ・射水市教育委員会：いみず親学びスクール
- ・富山県中小企業家同友会：経営者大学第17期
- ・富山県いきいき長寿センター：富山県いきいき長寿大学・すこやか活動講座
- ・とよまチャイルドライン愛ランド：電話受け手養成講座

3. 広報・出版活動

① チラシによる広告

公開講座、オープン・クラス、サテライト講座について、新聞へのチラシの折込みや市内電車へのポスター広告を実施しました。加えて、富山県内の各種学習施設や公民館等に配布依頼を行いました。

このほか、DMの形でパンフレットを郵送し、また各地でチラシ、ポスターの配布を行いました。その他の事業についても、事前に募集案内を作成し、県民カレッジや各地の公民館等に配布しました。

② 出版物

- ・公開講座、オープン・クラス、サテライト講座、市民講座、富山大学の研究を5時間で学ぶのチラシやポスターを作成しました。
- ・公開講座、オープン・クラスの募集要項を作成しました。

- ・「生涯学習部門年報」第 20 巻を刊行しました。

③ メールや Web を利用した広報活動

- ・メールマガジン

メールマガジンは、おおよそ 600 人に対し概ね月 1 回のペースで発信し、103 号を配信するに至りました。

- ・Web

大学開放に関する情報発信として随時 Web サイトを更新するとともに、フェイスブックを開設しています。